

バイオマス取組事例概要

(バイオマス活用協議会会長賞)

中四国

- ・ 応募主体 岡山県総合畜産センター
- ・ 都道府県・市町村 岡山県美咲町
- ・ 取組分野 バイオガス

取組概要

家畜排泄物、生ゴミの堆肥化・バイオガス発電の実証試験を実施。

岡山県総合畜産センターは、岡山県の総合的試験研究機関として畜産全般にわたる試験研究に取り組んでいる。

家畜排泄物、家庭等生ゴミからの堆肥の製造の実証については、平成13年度より実施しており、家畜排泄物（3,124t/年）、家庭等生ゴミ（145t/年）からの堆肥の製造（1,325t/年）を行っている。製造した堆肥は「まきばエコ堆肥」（300円/袋）の名称で、(社)岡山県畜産公社を通じて試験流通を実施している。

家庭からの生ゴミの回収に当たっては、町が生分解性プラスチックの専用回収袋を無料で配布し、生ゴミの分別収集等に積極的な協力を得ている。

平成16年度にバイオガスの実証プラントが完成、家畜排泄物と家庭等生ゴミの一部を湿式メタン発酵方式によりバイオガス（113.4Nm³/日）を製造し、コ・ジェネ装置により発電（168kwh/日）及び熱利用（1,382MJ/日）の実証試験を実施している。

また、メタン発酵後の残渣については、固形物を圃場に還元しているが、消化液については施設内の水処理施設(膜分離活性汚泥法)にて河川放流ができるレベルまでの浄化試験を実施している。

